

OB会 だよ

挑戦シリーズ
No.32

定年後の人生
新しい道に挑戦し、輝いている
仲間はたくさんいる
その一人 寺島 萬里子さん
90歳の今、
全国の新婦人しんぶん読者に
平和の願いを届けている。



しつけの厳しい母と甘い父



最近の寺島さん

1 (昭和6)年、私から歳のとき、東京・世田谷区代田に家を建てて暮らしてきました。そのころの代田は、キャベツ畑にモンシロチョウが舞い、牛舎があるようなのがな田圃馬場が広がっていました。父は子どもたちに甘く、しかられた記憶はありません。少将で予備校になりました。母は小柄で、子どもたちのしつけに厳しい人でした。何でしかられたのかはすっかり忘れましたが、手をついて「ごめんさい」と謝るまで許してもらえませんでした。

私は、1928 (大正15)年11月24日、母の生家の三重県宇治山田市 (現在は伊勢市) で生まれました。両親とも三重県出身で、父は軍人でした。私が生まれたときは海軍少佐で遠洋航海に出ており、女の子だったら「萬里子」と命名するように言い置っていたそうです。軍艦マーチの「万里の波濤を乗り越えて」から付けられた軍国主義的な名前です。きょうたいは、姉、妹2人、弟2人の6人です。

父は、横須賀、佐世保と任地を転々としてきました。1933年、父は、横須賀、佐世保と任地を転々としてきました。1933年、父は、横須賀、佐世保と任地を転々としてきました。

聞き書き 母の歴史

2673

先短き 老いなれば 今こそ叫ぶべし
いのちの限り 戦争反対

「新婦人しんぶん」6月1日号から11回シリーズで“母の歴史”～寺島萬里子さんのお話～が掲載された。寺島先生の歩んだ道を通して全国の読者に 戦争反対・平和な社会への願いを届け感動を呼んでいる(6月1日～8月30日)。

「私の表現手段は写真」との思いから63歳で現代写真研究所に入学。川口の街から消えゆく建築物を見える形で残しておきたい、医師になる原点ともなったハンセン病は「栗生楽泉園」に4年余り、韓国・台湾にも通いこれらを4冊の写真集として出版した。記事の中には先生の書かれた絵手紙、お孫さんを囲む寺島夫妻の写真、開設当時の川口診療所の写真などもある。

90歳の現在、現役時代と変わらない先生の熱い願いが強く伝わってくる。

新入会員紹介

よろしくお祈いします



★ 田中 美代子さん ★

大井協同診療所のデイケアが始まった時からボランティアで参加し、その後スタッフとして働きながらヘルパー、介護福祉士の資格をとりました。2017年6月に退職するまで30年近くデイケアにかかわってきました。いまは近くに事業所で週2回デイサービスの手伝いをしています。お年寄りの笑顔が好きで、もうしばらくこの状態が続きそうです。いまは空いている日に何をしようかとやりたいことを検討中です。(飲むこと大好きだけど・・・油絵習おうかな?)

★ 渋谷 菊雄さん ★

「老健さんとめ」で週3日、半日パートで働いています。
趣味の音楽では、東久留米うたう会をやっていて16年目に入りました。
好きな歌をリクエストしてもらい参加者と一緒に楽しくうたっています。アコーディオン奏者3人、ギター3人、唄のリーダー歌姫も増えて大きな会になりました。歌を唄えるのは平和であるからと最近痛感しています。地域の共産党の集会にも少しずつ呼ばれるようになりました。憲法を守り、歌を大切に、今後も続けたいと思っています。



埼玉民医連退職者の会 第28回総会のご案内 (第一報)

日時：2018年2月11日 10時30分～14時

会場：医療生協さいたま本部・第一会議室

会費：2,000円

※今年も「私の作品展」を開催します。ご協力お願いします

みなさん お疲れさまでした

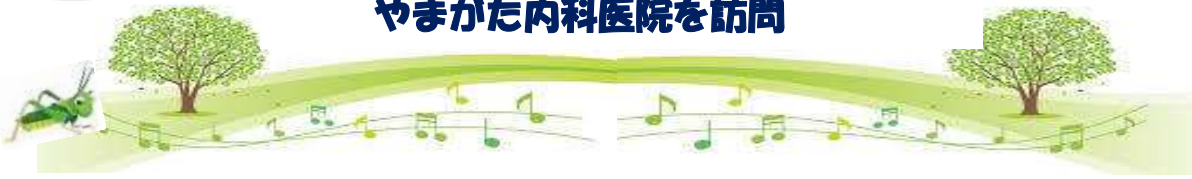
会長 富田 孝博

22日投開票が行われた衆議院選挙でのご奮闘、大変お疲れさまでした。

安倍政権の暴走を止め、日本の政治に民主主義を取り戻す闘いでしたが結果は私たちの願いとは逆に、大政党有利に民意をゆがめる小選挙区制に助けられての「虚構の多数」になりました。憲法、核兵器、消費税など直面している課題にみんなで力を合わせ、運動を前進させていきましょう。

秋 旅

ひたち海浜公園～鵜の岬めぐり やまがた内科医院を訪問



秋旅は、残暑残る9月27～28日、3台の車に18名が分乗して、ひたち海浜公園～鵜の岬～五浦海岸めぐりへ。途中、日立市で開業している山形文子先生の「やまがた内科医院」を訪ねました。ますます磨きのかかった文子先生らしいクリニックは健在。再会は楽しいひと時でした。

6年ぶりに1泊旅行 参加しました

前田 文代

身体がいうことを利かない年齢となり、バスにも電車にも乗るのを控えていた最近でしたが、OB会の旅行だから、でも「負担も迷惑もかけるのでは」と躊躇する心もありました。

車いす（老健みぬまから）の準備までしていただいたの出発です。

一日目は汗をかくほどの日より、ひたち海浜公園はグループに分かれての散策、みはらしの丘へは車いすで頂上まで。ちょっと早いコスモス、コキアなど広い公園内を楽しみました。多くの方の手を借り車いすでの移動は初めての経験でした。その後やまがたクリニックを訪問。山形



先生との再会にみなさんの笑顔が素晴らしいこと。待合室で最初に目に入ったのは、果物の糖分量がスティック砂糖で表になっていました。ヒバクシャ国際署名のおねがいと木内さんの新聞切り抜き写真、寺島先生の写真集、「はまぎくだより」等ぶれない姿勢に圧倒されました。鵜の岬国民宿舎での夕食会（宴会かな？）、二次会では現役時代の思い出、現在頑張っている事、楽しみ等の話が次々、楽しいひと時はあっという間でした。



二日目の朝はバケツをひっくり返すほどの雨でビックリ。天心記念五浦美術館などをまわり 帰宅の途につきました。

私にとって楽しく、また初めての経験をした二日間でした。心配なことはたくさんありましたが、一歩踏み出す旅となり皆さんに感謝しています。

茨城は 私の心のふるさと

河野 弘子

“OB会秋の旅行”私は参加することを楽しみにしていました。何故なら、茨城は私の心のふるさととでもあります。戦中に両親が世帯を持った場所で、幾度か訪れた所でもありました。

公園の見晴らしの丘に上り、様変わりした景色を眺めながら 若き頃を思い出していました。夜の宴会は山形先生も参加され、いろいろなお話が聞けてよかったです。翌日は悪天候で予定を変更されましたが、五浦美術館で過ごす時間もゆったりと観賞できました。帰路は雨で大変でし



たが、この2日間楽しかったです。

皆さん お疲れさまでした。

“ごきげんよう、 またの再会を待ちわびています。

私の希望

*夏の尾瀬 小屋に泊りたい

*秋の五色沼周辺に 1泊したい

*日本海も見てみたい

鶴の岬の旅紀行

岡村 和夫

「ひたち海浜公園」はコキアの色づき、コスモスの開花には少し早かったですが、公園内を電車で回る人、散策を楽しむ人等楽しいひと時を過ごしました。足元にはたくさんキノコも顔を見せていましたが、どれもこれも「毒キノコ」ばかり、「松ぼっくり」を拾う人、栗の木を見れば「クリ・クリ」と叫ぶ人、にぎやかな散策になりました。

その後、山形先生のクリニックを訪問、久しぶりの再会です。受付、待合室、カルテ棚、患者さんの導線、椅子、診療機器などていねいに見せて頂きました。反核・平和を目指すポスターや署名なども置いてあり、先生の目指す医療・診療の姿が随所にみえ大いに感心させられました。

宿泊先は国民宿舎人気No.1といわれる「鶴の岬」。ゆっくり温泉へ、夕食交流会では、みなさんが各々近況を語り交流しました。私は、技術部時代の4人との再会がとても嬉しかったです。その後会場をお部屋に移し引き続きの交流会、山形先生も参加してくださり大変な盛り上がり、底知れぬエネルギーに万歳。懐かしいお話もたくさん聞けてアツという間に就寝時間に。山形先生からおみやげに「日立味噌」をいただき、ありがとうございました。感謝！

翌朝は心配していた雨もさほどのこともなく、「岡倉天心美術館」を見学し、その後「日立おさかなセンター」で昼食をとり現地解散となりました。



民医連退職者の会全国連絡会
第9回経験交流集会

つながろう仲間たち 伝えよう次世代へ

10月17日～18日
神戸市・チサンホテル

19都道府県から100名の仲間が参加した第9回経験交流集会は、藤末衛全日本民医連会長の記念講演、川口貞勝事務局長の問題提起を受け、日頃の活動が発表・交流されました。埼玉から西村米子、深田澄子代表と、全国幹事の小川祥江さんが参加しました。

はじめての参加です！

深田 澄子

会場は神戸駅のすぐ近くのホテルで行われ、駅に降り立つとそれらしき人達がぎよろぎよろしながら歩いています。何人かが感想でおっしゃっていましたが会場に入ったら「高齢者だらけ」でした。無理もありません退職者の会ですから。いよいよ私も仲間入りかと改めて認識した次第です。県によっては退職する職員に対して退職者の会の紹介がない所もあるようです。埼玉みたいに一つの組織だといいいのですが、幾つもの組織から成っているところもあります。県で一つの退職者の会というのは運営が大変だと話されていました。その点埼玉は現場との連携が取れていたり、幹事会も頑張っていると思いました。

秩父でも地元にいる人たちだけでも交流会が出来ればと思いました。



誰もが住み続けられる街を

西村 米子

会場に着くと、参加者は高齢者が多いなあ（私もその一人です。退職者の会なので、あたり前ですが）と感じてしまいました。参加者のあいさつの中で、総選挙さ中で、怒られて来たという方が何人もいました。退職者は地域でも、頑張って活躍されているのでしょう。

記念講演は全日本民医連会長の藤末衛先生の「格差と貧困、超高齢社会、民医連が切り開く新しい道」現代社会の矛盾と民医連の果たす役割を熱く語られました。退職した私たちはまさに地域のど真ん中にいるわけで、共同組織の一員として誰もが住み続けられる街をつくる必要があると思いました。

各県連の退職者の会の状況、悩みなどが沢山報告されました。民医連退職者の会の全国連絡会は緩やかな組織です。「退職後の人生をより楽しく、生きがいのあるものに、ひとりぼっちの退職者を作らない」を合言葉に集まった人々ですので、それぞれの地域で多様であってあたりまえ

だと思います。こうでなくてはいけないという事はないし、会員がいきいきと生活できるように、気づかい、励ましあい、楽しい事をいっぱいすればよいと、改めて感じました。

夜の交流会も楽しいものでした。着物姿の男性や、日本オオカミ協会で日本にオオカミを呼び戻す運動をしている方、詩吟を披露された方、みんな個性豊かな民医連退職者に感心しました。集会后、神戸の美味しいステーキを食べて帰りました。



全国の経験って すごいなあ・・・

小川 祥江

2日間の交流を通して、どこの県でも悩みや喜びはたくさんありましたが、それを吐き出すように「うちこんなことやったの」「うちこうなの」などなど、たくさんの報告がありました。全国の経験って、すごいなあ・・・そう思いながら数県の報告を記してみました。

- OB会を知らせる意味で現役世代に会報の購読を進め、会を知ってもらい退職後の入会につなげている。春は「健康づくり教室」秋は「平和のつどい・学習会」、2か月毎に料理教室も。「会費は年額1口1,000円」。口数の増が課題。
- 幹事会は会の推進役なので会議だけでなく幹事会独自の親睦会も実施、出席率もよい。幹事会を成功させることで各行事の運営もスムーズ。会報は各院所事務長あてに配布、会の活動を知らせながら双方向の関係を強めている。配布は会員を一人ぼっちにしない、会員の情報を知る等からできる限り手配りで行う。総会では趣味の展示会も同時開催。1年間の活動はスライドと楽しいナレーションで、行事に参加したくなるように報告。会結成から10年を迎えた。
- 赤字になった会計を1年で黒字にした。総会・幹事会で討議し、会員を増やす、賛助会員を増やす、会報に広告を載せる、支出削減は手配り配付の導入を決め実施した。会員は2年で36名増、手配りは5割達成。幹事会出席は90%で賑やかな会。

私の近況



◆ 山本 康男 ◆

今年の“夏の旅”は7月の京都・祇園祭、8月には八幡平と花巻温泉郷・大沢温泉へ3泊4日、湯治部で気兼ねなくのんびり過ごしたひとときはなかなかいいものでした。

ちょっと贅沢かな？と思う方のためにご紹介します。

八幡平の費用：1泊目の国見温泉森山荘は、1泊3000円、自炊もなかなか楽しいものです。

自家発電なので電気の利用制限はありますが、温泉は全国でも珍しいグリーンの秘湯です。

今の世の中、非日常的な生活を楽しむのも、なかなか「オツ」なものです。



200年前の建物・大沢温泉



温泉通も うなるグリーンの湯

◆小嶋 美智子◆ ～「腰部脊柱管狭窄症」 手術しました～

右足のシビレが強くなり、X-P、MRI、CTと検査して「緊急手術対象です」と言われ驚きました。東京女子医大病院で術前検査、麻酔医診療をして5月7日入院しました。個室は希望していませんと、手続きのとき無料確認しました。

手術名「腰部脊柱管狭窄症に対する腰椎椎体間固定術、椎弓切除術」です。スクリュー4本入りました。全麻手術は初めてですが アツと言う間に効いて2時間30分後に覚醒、痛いこと！全身チューブだらけ、身動きもままならず術後2日めに臀部と肩に褥瘡の目、水泡が発見され騒ぎになりました？入院生活は痛みと3mm厚プラスチックコルセットと暑さとのたたかいです。24時間装着はたいへん。まじめにやりました。隣室の昼夜逆転の老人、夜中にナースを呼び「ご飯まだ？」と聞こえた時、おかしくて目覚めてしまったこともありました。

月曜日は教授回診が9時頃からあります。教授の毎回同じ「どうですか？」に目を合わせて「はいっ」、あとは主治医が説明します。後ろには15人いました。

5月25日退院。家の中は思っていた以上に動きにくいので、翌日に地域包括センターに連絡し、その日のうちに介護ベットをリースして1階に設置、介護保険申し込みと同時に介護ヘルパーを申し込み契約しました。



「要支援2」が今のところの介護度です。女子医からのリハビリメニューを毎日やっていたが、7月包括センター紹介の訪問リハビリに切り替えることにしました。医師の意見書もすぐ書いてもらえ、訪問リハビリが始まりました。頑張るしかないと思っています。（17年7月記）

◆浦川 恵子◆ ～温泉街に暮らす楽しみ～

遠刈田温泉では、さまざまなイベントが行われる。

“見に行くことが、私の地域貢献”なんて言いながら、楽しんでいる。

6月の大道芸フェスティバルを見るのは3回目。仙台在住のパフォーマーには、たくさんのおひねりが集まっていた。お盆に行われた仮装盆踊り大会、今年は地域の方に交ざってスタッフとして参加。見るだけより参加する方が、やっぱり楽しい。こけし館で開催中「里山のとてしご

と展」ワークショップに参加した。手で紡いだ麻糸を使って、藍染の布に刺し子、コースターが完成した。不細工なのも味のうち。そして、お釜の見学こそ、遠刈田温泉最大のイベント！



大道芸フェスティバル



残雪と雲海のお釜



初体験の刺し子

肥田先生

わたし達も あとにつづきますよ～

行田で肥田先生を偲ぶ会

小野 敏



肥田先生は 1953 年 4 月行田協立診療所の初代所長に就任、1964 年、埼玉民医連センター病院建設のため浦和民主診療所に異動するまでの約 10 年間、行田地域を中心に患者さんのために献身的に奮闘され、行田市で初めての日本共産党市会議員にもなりました。

8 月 19 日、肥田先生の思い出を語る会が行田協立診療所に組合員・職員など 47 名が参加し開催されました。植山所長はあいさつで、学生時代に聞いた肥田先生の反核の訴えに感動しましたと話され、高橋理事からは原水禁長崎大会の参加報告と、肥田先生が果たした世界的な役割が語られました。四方田さんから、戦争体験から「終戦ではなく、敗戦と言う」とらえ方に戦争の本質があると話されました。しらすぎ会代表の挨拶、元職員・患者さんたちから、肥田先生の思い出が語られ、患者さん一人一人に納得のいく姿勢だった先生の姿が思い起こされました。肥田先生が生涯をかけて訴え続けた核兵器廃絶の願いを継いでいこうとの思いを新たにしました。

100 歳まで 元気な 肥田先生が 何よりの励まし

青柳 伸二

毎年 9 月の第一日曜日に「常泉寺に『広島・長崎の火』を永遠に灯す会」のつどいが開かれる。

2010 年前後 6 年間、肥田舜太郎先生に会長をお願いしてきた。(私は副会長)。海老名香葉子さん、小森香子さんなど核廃絶にとりくんでいる方々に講演をお願いし、肥田先生にはこれまで 3 回講演してもらった。肥田先生の講演は、「被爆者から見た放射能の恐ろしさ」「被爆と被曝—広島長崎と福島」などだったが、「いかに長生きするか」を自身の体験を交え、参加者を励ますものだった。

第 23 回となった今年の講演は、医療生協さいたま理事長の雪田慎二先生。タイトルは、「福島第一原発事故から 6 年半、放射能が健康に与える影響—肥田舜太郎医師から学んだこと」雪田先生は事故後の福島での現地調査や、核兵器禁止条約に向けての活動を語りながら、肥田先生には「いつも励まされた」と言う言葉が何度もあった。

肥田先生が 100 歳まで元気に活躍されたことが、何よりの励みだったと、私も思っています。



黙^{おもかげ}す 佛まざと 原爆忌

8 月 6 日 語り部としての肥田舜太郎先生の偉業を
しのびつつ、黙祷しました。

宮谷 忠

上野の森で

肥田先生は 無言の中にも平和の大切さを！

小川 祥江

65 周年記念平和美術展の開催を知らせる新聞記事を読んでいたら、肥田先生によく似た方の写真が・・・ 「あれ！ もしかして肥田先生では？」
と思い上野まで出かけた。

全国・海外からもたくさんの作品が寄せられ、東京都美術館の会場はあふれるくらいの作品の展示だ。
今年は特別企画展として「子どもたちへのメッセージ」
があった。子どもたちに平和の喜び、生きるすばらしさ等が作品を通して伝えられていた。その中に今年亡くなった原爆犠牲者 5 人の肖像画があった。



あの笑顔の肥田舜太郎先生の前で係員から説明を聞く少年たちは真剣そのもの。肥田先生は無言の中にも平和の大切さを訴えていました。先生、私達も先生の願いを受け継いでいきますね。

埼玉県原爆死没者慰霊式

肥田先生 国連での決議 よかったですね

石丸 乾二



32回県原爆死没者慰霊式が7月30日、さいたま市民会館で行われ、約230人が参列した。県原爆被害者協議会（しらすぎ会）の田中熙巳会長は慰霊のことばで国連の交渉会議で核兵器禁止条約が採択されたことを受け、同条約の前文に「ヒバクシャ」の表現が取り入れられたことに触れ、「原爆被害者の耐え難い苦しみ、被害に思いを寄せ、被爆者の役割を高く評価している」と説明。核保有国や日本政府の不参加については「残念なこと」と苦言を呈した。遺族代表としてあいさつした肥田泰先生は、「父は同条約の実現を、あの世で喜んでいるだろうと思う。世界中の人たちが『核兵器はもういない』という声をあげ続け、その先頭に日本が立つべきだ」と話されました。

埼玉西協同病院

事業所訪問

訪問者：西村米子
伊藤幸夫



8月23日 埼玉西協同病院を訪問し、事務長の小暮さん、次長の星野さんにお話を伺いました。開設から67年、今の病院は築16年、一般病床が26、地域包括ケア病床が24床の医療生協さいたま西部拠点病院です。

現在の西協同病院の役割、地域における位置づけを伺いました。「最後まで、地域で暮らす」を支援する病院です。所沢では、高齢者の急増その4割がひとり暮らしと高齢者世帯、回復期病棟は不足しているとの事。退院困難者の増加の中、安心して地域で暮らせるように全職種が意識して取り組んでいます。具体的には、ケアマネジャーとの相談はもちろん、リハビリ職員の家屋

調査、薬剤師が薬の調整、病棟看護師の退院後訪問、組織担当が地域の組合員との連絡をとり、退院後訪問を続ける。地域には、1200名の見守りサポーターがいます。この取り組みは民医連新聞や雑誌コムコムでも取り上げられ、全国的にも注目されています。「地域で暮らす」を職員、組合員の力で、ダイナミックに具体的に実現しつつあるすばらしい活動だと感心しました。

そんな中で今後の計画です。既存病棟50床を99床に増床（一般急性期50床、地域ケア病棟49床）入院対応力を強化、外来は、これまでの総合的外来医療のほかに、外来がん化学療法室の設置、健診専用エリアの設置、新たに歯科医療を開始し、口からの健康づくりに力を入れる、増築費用は約15億円、現在の駐車場に増築予定、2019年4月オープン予定です。

組合員・職員の手で、安心できる地域をめざしているお話を伺い、所沢に住みたいと思ってしまいましたが、イヤイヤ、私たちも自分の地域で頑張ろうと思いながら西協同病院を後にしました。



次姉の急死 ー結ー

《終活の参考に》 No.

石丸 乾二

次姉の突然の死、驚き、悲しみ、孤独感、墓地のこと、姉が住んでいた実家のこと。次々と降りかかる「さ～、どうする・・・」そして想定していなかった相続人の立場と代襲相続人の発生、とそれへの対応・・・きりきり舞いする2年間でした。

相続遺産は相続税が発生しなくても、司法書士の手をかけてでも遺産分割協議書などを作成・法務局に登記することは大事だと学びました。それがあって、その次の登記がスムーズに進むのです。いい加減にするとその後、揉めたり最悪は裁判沙汰になることもあります。

こんなことを書いているうちに、今年の1月に一昨昨年になくなった兄の妻が亡くなったという連絡が・・・。正月早々なんということ！ 相続人は兄嫁の兄さん。私が駆けつける前に、死因を確認するため司法解剖（司法解剖となると監察医から1件10万円の請求が警察署から葬儀社へ回され、付いてきます）の結果、心筋梗塞でした。そして、義兄はさっさと直火葬にし、能見台の家には手を付けない様子で、すでに亡くなっていた長姉の夫に連絡し、相続手続をするように説得に行きました。私も数日通いましたが、資産はあまり出ず、夫婦合わせての退職金数千万円はどこへ？ 現金・預金は160万円あまり、数万円の貴金属の預かり証と三菱自動車の証券会社の株券のレポートくらい。ところが、千葉県富津市の別荘の不動産登記証が見つかり、依頼した司法書士は「相続放棄で逃げましょう」と、ホッとしたのは数ヶ月、6月末に富津市役所から固定資産税の請求書が郵送されてきました。「あっそうか！ 別荘の名義は兄になっているのでは仕方がない」司法書士先生に相談に行ったところ「相続放棄の手続は事由の発生から3ヶ月

以内なのですよ」今、この兄貴の負の遺産と格闘するべく、手を付けているところです。

遺産相続って何百万円かの遺産分割にありつけるだけでなく、負の遺産に持ち金を繰り入れなければならぬ不幸もあるということ・・・。「まだ生きているのに縁起でもない！」で、手つかずにいると、急死されたときは、生きているこちらが途方に暮れることも、親・兄弟姉妹、全方位に気を配らねばというのが、ここ数年の私の終活哲学でしょうか・・・。（終）



私の一枚

受診の帰り道



【不忍池：栗原和子】

安の滝



能代大館空港の夕景



【秋田にて：岡村和夫】

ホームページを開いてくださいね

埼玉民医連退職者の会

検索



あとがき

「OB会だより」今号は全国交流集会との関係で1か月遅れてのお届けになりました。まだこんな時間なのに、もう真っ暗・・・」

夜が長い季節になりました。忙しい日々ですが、のんびりと夜長を楽しんでみませんか。本を読むのも・・・音楽を聴くのも・・・お酒を嗜むのも・・・選挙結果の全国分析も・・・秋の夜長は「私のごほうび時間」です。

「OB会だより」を開いて ゆったりと過ごすのはいかがでしょう・・・（よ）